



SATSUKIKAI



2022年
5月

Vol.119

しあわせを
咲かせて生きる。

あき

s a t s u k i

特集

○ 令和4年度
経営(事業)計画

- 令和3年度 満足度調査結果報告
- 入社・辞令交付式、永年勤続表彰式
- サービス向上発表会

介護ロボット・ICT・ノーリフティングケア等の活用と業務の可視化による職場環境改善

- ①介護従事者の事務・記録作業の軽減・科学的介護の推進・職員間のコミュニケーション活性化・介護従事者の魅力の向上を図るために新介護情報システムを活用し、業務の合理化・効率化を推進する。
- ②組織横断的な「ICT推進プロジェクトチーム」を常置し、職員への効果的な情報提供、タブレット端末・パソコンなどの電子機器の活用を推進する。
- ③介護ロボット・ノーリフティングケア等を調査・研究・導入・試用・活用を通じて、転倒・転落リスクの減少、職員の腰痛予防対策など、利用者と職員ともに安全・安心なケアを提供する。
- ④有限の職員体制においてサービスの質の維持・向上を図るために、全ての職員が「仕事の見える化」（業務の可視化）を行い、業務の効率化と改善の基礎資料を作成する。

利用者・家族・地域住民の健康・生きがいがいづくりと良質高度なチームケア(サービス)の提供

- ①ケアの仕事の原点は、利用者の笑顔と元気が見られることである。短時間でも効果のあるアクティビティを取り入れ、利用者と職員がともに笑顔になれる時間を意図的・計画的につくり、それらをケアの仕事で得られる魅力として、アクティビティ委員会・若手職員等が中心となりながらSNSを活用し定期的に発信する。
- ②全ての介護職・看護職・医療職は、高齢者ケアに関わる基礎原理と最新理論を学習・共有し、科学的裏付けに基づいたケアを実践する。
- ③施設・在宅部門において、トータルケアシステム（多職種協同による重度化対応・重症化介護予防の仕組み）を運用し、最適化したケアの提供と重症化予防に務め、できるだけ最期まで鷹栖町内で穏やかで笑顔のある暮らしを支援する。
- ④自立度の高い方から嚆下・摂食障害のある方まで、「より美味しく、より安全に食べること」を実現するため、介護・看護・栄養・調理員、委託業者が一体的になり食事サービスの質向上を図るとともに、適正な予算の下に給食サービス業務が行われるよう業務の効率化・省人化を図る。
- ⑤鷹栖町内で高齢者介護に関わる情報と知識・技術を一番持っている強みを生かし、職員が地域へ出向き介護講座やサロン（地域の茶の間）の開催や、地域の集会などへ積極的に参加することで地域との交流を図る。その活動により地域住民に「高齢期における健康・介護リスクと予防法」についての理解を深めていただくと共に、職員自身が地域を知り地域を学び安心できる地域づくりの貢献を図る。
- ⑥施設のマンパワーだけで利用者の暮らしを豊かにする、災害時の安全を守ることは困難を要するため、地域住民やボランティアを利用者のQOL向上（生活の質向上）を図るための「協力者」として、更なる意見・協力を得て共に活動する。
- ⑦施設が平常時から災害時まで、安心・快適に暮らせる場となるために、施設設備や環境のプライバシー・快適性・安全性・居住性を十分配慮し、定期的なチェックとメンテナンスを遂行する。
- ⑧今後、特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑が、さらなる安全性・快適性と施設機能の向上を図るとともに、法人が健全かつ安定した経営を維持していくために必要となる改築・増床等の基本構想の策定に着手する。

適性利益の確保と内部統制の強化

- ①居宅・通所・訪問・小規模・短期入所の在宅サービスは、前期高齢者の需要増が見込まれる事業である。団塊世代のニーズを満たす魅力ある事業所づくりと新規利用者獲得のための町内外の地域機関・医療機関への営業・PR活動を拡充し、利用者数の増加と稼働率向上を図る。
- ②社会福祉法人は、公益性の高い法人であり法令遵守、不正防止、組織統治、業務の効率化が要求されている。「人に仕事がつくのでなく、仕事に人がつくようになる」ために、ルール（マニュアル、手順書、チェックリスト）を整備し、業務の標準化を図る。
- ③部門間の人事異動及び課内の配置転換（ジョブローテーション）を積極的に実施し、職員の能力開発・部門間の連携推進と業務の属人化防止を図る。
- ④各事業所に部門計画・活動計画の達成と適正収支差額（事業活動収支差額10%）を確保するために、各課長が予算管理（①計画と編成、②予算に基づく執行、③予算・実績の差異分析と評価、④改善活動への提案と実行）を実施する。
- ⑤全事業所において収益向上、及び収支改善を図り、法人全体の事業活動収入（委託費・補助金・雑収入除く）の10%を事業活動収支差額72,728千円）に掲げ、その運営管理（マネジメント）をつかさどる月次業績検討会議の活性化を図る。
- ⑥サービス需要及び業績に見合った要員計画を検討し、職員の適正配置、事業運営の効率化等を図ることにより安定した経営基盤の構築に取り組む。
- ⑦いかなる環境下においても、全ての事業所において「良いケア・良い職場・良い経営」の実現を図り維持するため、その羅針盤となる第6次中期経営3か年計画の推進に努める。

令和4年度 経営(事業)計画(第49期)

第6次中期経営3か年計画 基本方針

良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る

令和4年度 全事業所職場目標

『一人ひとりの成長、チームの力、ICTを活用し、 ケア・サービスの質向上と職場環境改善を図る』

【一人ひとりの成長】

さつき会の持続的発展は、一人ひとりの職員の存在と成長なくしてあり得ない。一方、人の成長は、「これでいい」と思った瞬間や、「忙しい・無理・大変」という言葉を発することで、自らの思考が鈍化したり、考えることをやめた瞬間に止まるとも言われている。職業人としてプロ意識を持ち、謙虚に周囲の意見に耳を傾け自己を振り返り、前向きな思考と向上心を持って、業務推進と改善活動に努める。

【チームの力】

人間は弱く、脆く、時に失敗や過ちを犯す生き物でもある。自分の強み・持ち味を最大限に生かし、短所や弱点は互いに補い合い、互いの成長を刺激し合いながら、相乗効果でチームの力を高めて、個人では実現できない目標や価値をチーム全体で創りだすことに努める。

【ICTの活用】

利用者の真のニーズはどこにあるのか、福祉介護従事者が社会から求められていることはなにか、そういった課題に向き合うには一定の時間が必要である。さらに、新たな試みや挑戦をするには、情報収集する、考える、人と意見を交わし合う、計画するなどにも時間が必要である。「ケア・サービスの質向上と職場環境改善を図る」ためにICT・介護ロボット・OA機器を大いに活用して、業務の効率化・生産性向上に努める。

令和4年度 事業活動のポイント

多様な人材採用・次世代経営幹部候補育成・中核人材育成と安心・希望を持ち長く働ける職場環境の整備

- ①プロフェッショナルな介護従事者の安定確保を図るため、外国人介護福祉人材の確保を図り、令和4年度からさつき会に入職する外国人技能実習生と定着・育成の支援体制づくりに着手する。
- ②アクティブシニアの就労・生涯活躍と介護の仕事のイメージチェンジを図るため、鷹栖町との連携による「介護の入門的研修」の実施及び介護以外の仕事を担当する「ケアアシスタント」の採用及び定着支援を推進する。
- ③新規卒卒者及び転職者希望者を対象とした、合同企業説明会に参加するとともに、法人独自の入社説明会・インターンシップを開催する。また、若手職員を巻き込みながらSNS・オンラインによる法人の魅力発信を日常化し、LINE・オンライン等による求職者からの質問・申込みに対応する。
- ④さつき会の持続的発展と組織風土の活性化を図るため、経営者と対等な視野・視座・視点を養い、「ケア（サービス）・人材・チーム・財務・情報・地域」をマネジメントできる次世代経営幹部候補の育成を図る。
- ⑤さつき会の経営理念・ビジョンに共鳴・共感し、さつき会をより良くするために、主体性を持って行動する中核職員を育成するために「さつき会の未来を創るネクストリーダー研修会」を実施する。
- ⑥利用者本位の福祉・介護サービスを担う人材を育成するための教育プログラムを階層別＜新任職員（入社時研修・フォローアップ研修）、総合職研修、専門職研修、専任職研修、リーダー研修、管理者研修、経営職研修＞に体系化し、年間計画をもとに定期的な研修を実施する。
- ⑦定期面談において部下が抱える不安や悩みを聞き、安心して働けるようサポートする。また、部下が考える目標、上司が期待する目標を相互に確認した上で、その期の個人目標を設定し、部下・上司ともに成長の機会とする。令和4年度は、一般職2級を除く常勤全職員が実施する。
- ⑧対人援助による感情労働の職種が多い事業特性を踏まえて、メンタルヘルス研修の実施、有給休暇・リフレッシュ休暇の取得推進を通じて、安心と希望を持ち長く働ける職場環境の整備を図る。
- ⑨「介護職員処遇改善加算」「特定介護職員等処遇改善加算」「介護職員処遇改善支援補助金」を活用し、一定の経験と資格と技能を有する者、指導的役割を担う介護職員、介護職員以外の職員等に対して処遇改善を図るとともに、キャリアパスと給与制度の見直しに着手する。



さつき会のサービスをご利用されている、ご利用者、ご入居者、ご家族の方を対象として、各種サービスについての満足度を毎年調査させていただいております。この満足度調査の結果をもとに、サービスの質の向上、ならびに改善につなげていきたいと考えております。

小規模多機能ホーム 鷹栖なごみの家

【満足度調査集計結果の総評】

「レクリエーションに力を入れます!」

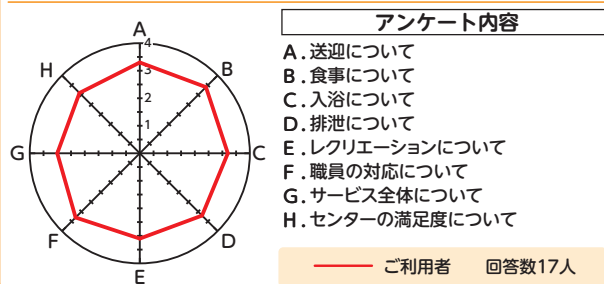
ご利用者24名中17名からの回答をいただくことができましたが、ご利用者ご本人からの聞き取りが難しい方も多く、無回答の項目もありました。令和3年度は、昨年度同様、コロナ禍で何かと規制の厳しい中のサービス提供となりました。例年課題となっていた「レクリエーション」については、コロナ禍でも楽しんでいただけるような取り組みを試みました。しかし、身体機能の維持・改善については、やや良くないとの回答が26.7%、職員の自己評価でもかなり低い結果となりました。



共に満足できる充実したレクリエーションを計画し改善に努めたいと思います。今回の結果を踏まえ、サービス向上と改善に向けた取り組みを行い、ご利用者・ご家族の皆様にとって信頼され、満足していただける小規模ホームを目指して努力してまいります。

林崎 美紀

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家

【満足度調査集計結果の総評】

「工夫をしながらコロナとともに」

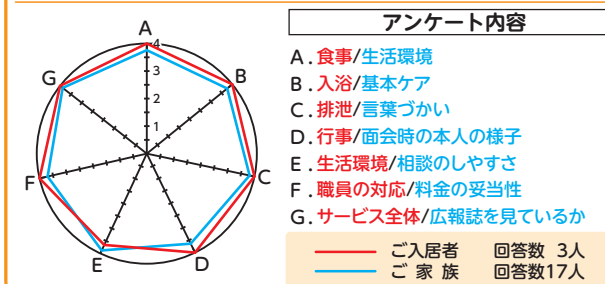
ご入居者のアンケートについては、答えられる方は3名と少なく、3名の方も短期記憶の低下により聞き取りしている瞬間のことのみの回答となりました。普段の状況や対応をどう思われているかは、アンケートで知ることは非常に難しく次年度以降の実施については検討が必要であると考えています。ご家族のアンケートでは、新型コロナウイルス感染予防のため面会制限をせざるを得ない状況の中、「お便りの写真を見ながら記入しました」「窓越しの様子が満足そうに見えたので」等、新規入居者のご家族につきましてでも事業所内の様子を十分確認していただくことができている中、大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後も、自らのサービス内容・業務態度の見直しをし、サービスの質の向上に努めていきたいと思ひます。



新規入居者のご家族につきましてでも事業所内の様子を十分確認していただくことができている中、大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後も、自らのサービス内容・業務態度の見直しをし、サービスの質の向上に努めていきたいと思ひます。

秋保 友美

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



令和3年度 各施設満足度調査の結果(8施設)

※アンケート調査についての詳細はさつき会ホームページをご覧ください。



鷹栖町介護センター さつき苑

【満足度調査集計結果の総評】

「接遇・相談のしやすさに高評価をいただきました!」

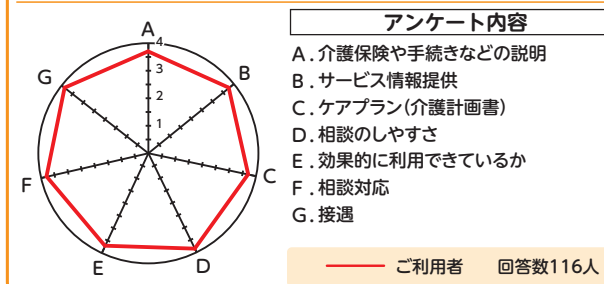
全体を通して満足・普通との評価を多くいただきましたが、やや不満の方もおられるので、今後も介護相談の窓口として適切な対応ができるように気を引き締めていきたいと思います。介護保険制度や近隣のサービス事業所、地域資源等については常にアンテナをはり、最新の情報をお伝えできるように情報収集に努めていきます。相手の立場に立った相談への対応ができるように、知識と技術の研鑽に努め個々のスキルアップを目指していきたいと思います。また、日頃より話しやすい関係性を築き、ご利用者・ご家族の意見が取り入れられたケアプラン作成に努めていきます。相談して良かったと感じていただけるよう、より一層の努力をしていきたいと思います。調査にご協力いただきありがとうございました。



より話しやすい関係性を築き、ご利用者・ご家族の意見が取り入れられたケアプラン作成に努めていきます。相談して良かったと感じていただけるよう、より一層の努力をしていきたいと思います。調査にご協力いただきありがとうございました。

山本 裕子

ご利用者アンケート 各項目4段階評価

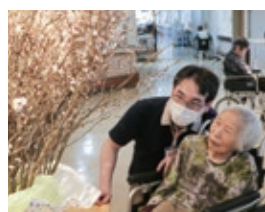


特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑

【満足度調査集計結果の総評】

「情報共有で信頼ときづなを」

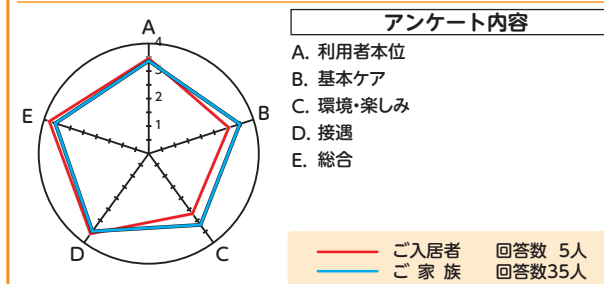
今年度の満足調査はご入居者5名(10%)ご家族35名(73%)職員27名(100%)の回答。ご入居者においては、年々重度化により回答できる方が少なくなっています。返事いただいた方は、全体的には満足の結果ではありますが、食事、接遇に対し不満な点がありました。ご家族は面会制限や行事の少ない中で基本サービスについては「わからない」という回答が多かったです。その中でもお手紙や電話などから7割強の方が、私たちのサービスに満足いただいていることがわかりました。しかし、十分に



ご入居者の状況をお伝えできていないことや、サービス全体に不足があることを受け止め、ご家族とのつながりや情報共有を図っていきます。自由記入欄にも励ましや率直なご意見もいただきました。お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。

谷本 政美

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



小規模多機能ホーム めくもりの家えん

【満足度調査集計結果の総評】

「職員の対応評価が向上!」

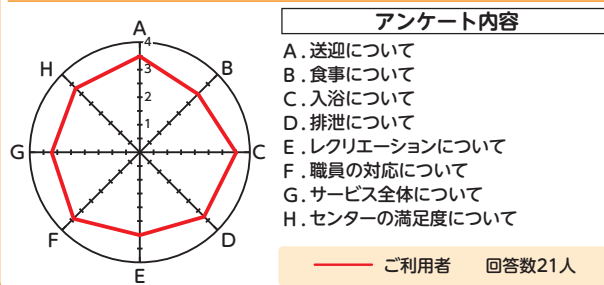
改善すべきサービス内容や課題を明らかにし、サービスの質の向上を図ることを目的として、満足度調査を実施いたしました。全てのサービス項目平均が3以上の結果となり、特に前回評価の低かった「職員の対応」の評価が上がったことについては、一年間取り組んできたことに対する率直な効果として私たちの自信に繋がるものとなりました。しかし、「食事」「レクリエーション」の評価が職員の自己評価を大幅に下回っている点については、皆さまの求めているものに答えられていない結果であり、サービスについての根本的な意識改革が必要であると感じています。



今回のアンケート結果で得た皆さまの声を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。これからも皆さまに、住み慣れた場所で楽しみながら過ごすことのできる一助となれるよう努力を重ね、サービス改善を目指してまいります。

佐藤 晴美

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



地域密着型特別養護老人ホーム めくもりの家えん

【満足度調査集計結果の総評】

「基本ケアの満足度がUP!」

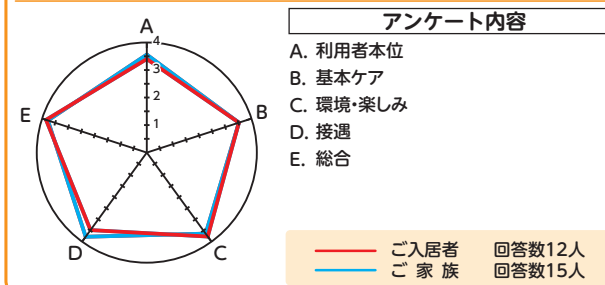
今回の満足度調査では、ご入居者12名、ご家族15名、職員23名から回答をいただくことができました。その中で基本ケアの項目(食事・入浴・排泄)が昨年と比較した結果、ご入居者と職員、共に満足度が上がっていることがわかりました。特に食事に関しては、ご入居者より83%の方から満足されているという結果が得られました。また、ご家族の調査結果では、面会がなかなかできない中



ではありましたが「施設への安心感」「家族への情報提供」に満足をしていただくことができ、職員一同嬉しく感じております。今後も一人一人の声を大切にし、安心した暮らしが継続できるよう努めてまいります。

松原 美咲

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



鷹栖町デイサービスセンター はびねす

【満足度調査集計結果の総評】

「昨年度よりも高い満足度に!」

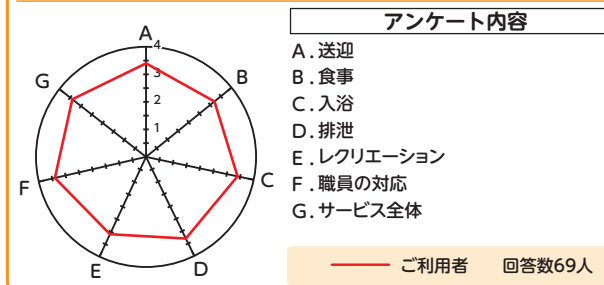
今回の調査では、全体を通して昨年度よりも高い満足度を得ることができました。コロナ禍でさまざまな制限がある中で、スタッフ一人一人ができることを模索・工夫しながらサービスを提供したことが高い満足度につながったと考えます。一方「レクリエーション」に関して、男性ご利用者の満足度が低い結果となりました。今年度は男性が楽しみながら参加できる「外出・外食」や「体を動かすプログラム」があまり行えなかったことが要因としてあげられます。感染状況や場所・人数などを検討しながら、少しでも実施できるよう努めていきます。今後もご利用者が楽しみながら主体的に取り組めるレクリエーションを取り入れ、ご利用者の「元気を創る」デイサービスとして運営していきたいです。



今後もご利用者が楽しみながら主体的に取り組めるレクリエーションを取り入れ、ご利用者の「元気を創る」デイサービスとして運営していきたいです。

成田 直美

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



鷹栖町ヘルパーステーション さつき苑

【満足度調査集計結果の総評】

「丁寧なサービスで安心できる生活を」

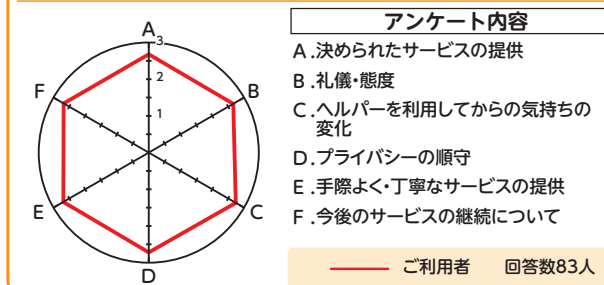
今年度の満足度調査では102名中83名のご利用者から回答をいただくことができました。「サービスを利用したことで安心して生活できるようになった」との項目で高い評価をいただきました。全体的にも良い、概ね良いとの評価をいただきましたがヘルパーによって掃除の仕方、物の置き方に違いがあるとの意見もあり、ヘルパー全体に周知しサービス内容の確認、統一を図ってまいります。今後ともご利用者の声を大切にし共有、改善、ケアの統一を心掛け丁寧なサービスの提供の向上に努めてまいります。アンケートへのご協力ありがとうございました。



今後もご利用者の声を大切にし共有、改善、ケアの統一を心掛け丁寧なサービスの提供の向上に努めてまいります。アンケートへのご協力ありがとうございました。

深瀬 千津

ご利用者アンケート 各項目3段階評価



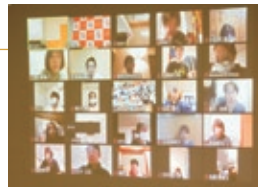
さつき会サービス向上発表会

各事業所の「サービス向上」を発表。



毎年開催しているサービス向上発表会も、今年で10回目の開催となり、集合会場とオンラインのハイブリッド開催で約80名の参加がありました。今年度は、5事業所計7名がその取り組みを発表。どの事業所も自分たちの取り組みの成果についてわかりやすく工夫を凝らして発表されており、本会の目的である「サービス向上」につながる素晴らしい発表でした。

理学療法士 大矢 敏之



オンラインからも参加

最優秀賞受賞者コメント

平成28年度よりヘルパーステーションさつき苑で取り組み、行ってきた支援について、15分間にまとめ聞いて下さる方々へ伝えるということは、とても難しいと感じていました。ですが、その反面サービス向上発表会で、「自分達がしてきたことを聞いてもらいたい。」「地道な支援だけど、関わり方次第でご利用者の生活を豊かにすることができる」という強い思いもあり、自分自身の言葉で伝えられたことが本当に良かったと思います。今回、最優秀賞をいただいたのは、ヘルパーとして日々ご利用者と関わりながら、自立支援を考え実践してくれている仲間のおかげだと思っています。この場をお借りし改めて皆様に感謝の言葉を伝えさせていただきます。本当にありがとうございました。

ヘルパーステーションさつき苑 主任 米澤 美絵

最優秀賞



左から深瀬千津さんと米澤美絵さん【ヘルパーステーションさつき苑】

2位



左から山本裕子さんと佐々木恵子さん【介護センターさつき苑】

3位



左から和泉千春さんと伊藤玲さん【さつき苑】

令和4年度 入社・辞令交付式、永年勤続表彰式

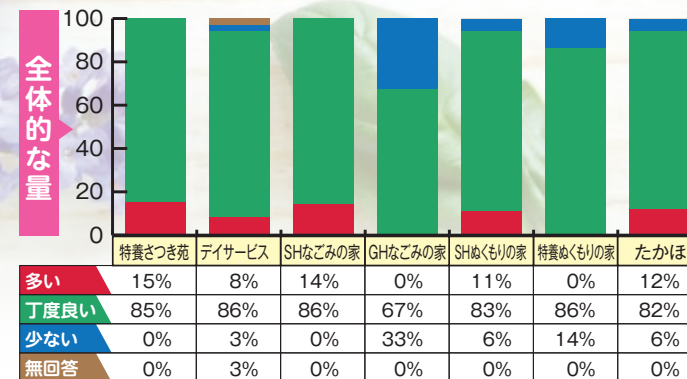
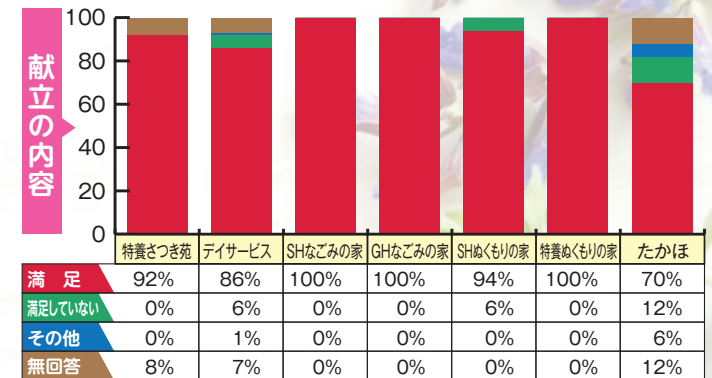
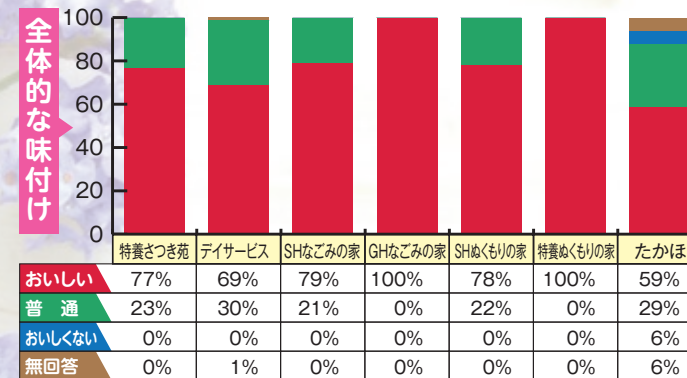


4月1日、春のような柔らかな日ざしのもと、入社式・辞令交付式・永年勤続表彰式を行いました。本年度から限定正職員制度を新設し非常勤職員から限定正職員に登用された3名を含め5名の職員に木津理事長から辞令の交付が行われました。また、長きにわたりさつき会に貢献してきた永年勤続者3名に表彰状並びに副賞が贈呈されました。

総務課 佐藤 健一

※限定正職員制度とは勤務曜日、勤務時間が限定される正職員です。(さつき会限定正職員制度の問合せ先:TEL87-3321 総務課 木幡まで)

令和3年度 さつき会 食事サービス満足度調査 結果報告



各施設アンケート回答者数

特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑	入居者数50名	うち回答者 13名
デイサービスはびねす	利用者数90名	うち回答者 70名
SH鷹栖なごみの家	利用者数23名	うち回答者 14名
GH鷹栖なごみの家	入居者数18名	うち回答者 3名
SHぬくもりの家えん	利用者数25名	うち回答者 19名
特養ぬくもりの家えん	入居者数20名	うち回答者 7名
ぬくもりの家たかほ	入居者数18名	うち回答者 17名

(SH=小規模多機能ホーム・GH=グループホーム)



食事サービス満足度調査を終えて



今年の1月～3月、さつき会事業所のご入居者・ご利用者を対象に食事サービス満足度調査を実施し、皆様から沢山の率直なご意見・ご要望をいただきました。

結果は、「献立内容の満足度」と「味付け」については、昨年度と比較して「おいしい」との回答の増加が見られました。昨年度の調査結果から問題点の把握と分析を行い、味の均一化を目指したことで改善につながったと思います。

「全体的な食事量」については昨年度と概ね変わらない結果となりました。今後は食の細い方にも無理なく召し上がっていただけるような工夫や、安全で食べやすい食事形態の検討を重ねてまいります。

献立の内容については、昨年度と同様の結果ではありましたが、新型コロナウイルスの流行継続で行事が縮小したため、日常の献立で季節の雰囲気を感じていただけるよう、調理員と共に取り組みました。今回皆様からいただいた声をしっかりと受け止め、次年度の目標とさせていただきます。

さつき会の食事を通して、心から元気に、そして楽しい時間を過ごしていただけるよう、一層努力してまいります。ご協力いただいた皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

管理栄養士 鈴木 真弓・己上 純子



快挙!

祝 全国大会 2位 受賞!!

この度、令和3年度全国老人保健施設研究会にて奨励賞(全国2位)をいただきました。今回受賞した「鷹栖フレイルゼロプロジェクト～コロナ禍での新たな取り組み～」という演題は、緊急事態宣言でフィットネス倶楽部コレカラが休館の間も、利用者の方々に運動を続けてもらえるよう、公式LINEを用いて毎日運動プログラムを配信した取り組みについて紹介したものです。

今後も利用者の方々が楽しく運動を続けられるよう、様々な取り組みをしていきたいと思います。

フィットネス倶楽部コレカラ 大河原 和也



今年度も運動プログラムの配信は行う予定です!
興味のある方は
コレカラ公式LINE
の登録を!!



社会福祉法人さつき会 苦情受付対応実績

令和4年1月31日～令和4年3月31日

受付件数	2件
解決件数	2件
第三者委員対応件数	0件



さつき苑
中村 ゆい 様



さつき苑
森田 アヤ 様

編集後記

すっかり季節は春となり、北海道は心地良い季節を迎えています。寒い季節から暖かい季節になると、心も体も軽くなったような気がして、明るく前向きになれるます。今年も一年、皆で前向きに力を合わせていけたらと思います。

季節の変わり目、体調管理にも気を付けてまいります。

今年度も、皆様の笑顔や日々のご様子を広報を通して、お伝えしていきます。よろしくお願い致します。

和泉 千春

◆ 寄付寄贈 ◆

令和4年1月21日

～令和4年3月20日

《めくもりの家えん》

● 衛生用品

湯本 賢太郎 様

※お受けできない場合もございます。
事前にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

特別養護老人ホーム・デイサービスセンター
居宅介護支援事業

鷹栖さつき苑

〒071-1201 鷹栖町南1条3丁目2番7号
TEL (0166) 87-3321

地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能ホーム
地域交流スペースふれあい茶ろん てくてく

めくもりの家えん

〒071-1249 鷹栖町9線4号5番地
TEL (0166) 87-5824

多機能型グループホーム・小規模多機能ホーム

鷹栖なごみの家

〒071-1201 鷹栖町南1条1丁目1番20号
TEL (0166) 59-3321

サービス付き高齢者向け住宅・フィットネス倶楽部 コレカラ
地域交流スペース あえーる

めくもりの家たかほ

鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑
〒071-1223 鷹栖町北野東3条1丁目7番1号
TEL (0166) 76-5037

◆ ホームページ ◆

さつき会

検索



<http://www.satsuki-kai.jp>

◆ ブログも更新 ◆

さつき会ブログ

検索



http://blog.livedoor.jp/satsuki_kai/